

プレス発表資料(お知らせ)

平成21年10月21日
独立行政法人 防災科学技術研究所

火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2009 —大規模噴火(レベル4・5)時のクライシス・マネージメント— Workshop on Strategy of Volcanic Disaster Mitigation 2009 — Crisis management in big eruptions (Levels 4 and 5) —

独立行政法人 防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、山梨県環境科学研究所と共催で「火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2009—大規模噴火(レベル4・5)時のクライシス・マネージメント—」を下記の通り開催いたします。

1. 日 時 平成21年11月4日(水) 10:30~17:00
平成21年11月6日(金) 9:30~15:00
2. 開催場所 防災科学技術研究所 研究交流棟 和達記念ホール(11月4日)
(〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1)
山梨県環境科学研究所 多目的ホール(11月6日)
(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1)
3. 主催 (独) 防災科学技術研究所、山梨県環境科学研究所
4. 後援 日本火山学会
5. プログラム 別紙のとおり
6. 定員 両日各150名(申込順)
7. 参加申込 ご氏名・ご所属・参加希望日(4日・6日)を明記の上、下記問い合わせ先にメール(kazan-ws@bosai.go.jp)、もしくはお電話(029-863-7537)、FAX(029-851-5658)にてお申してください。
8. 参加費 無料
9. その他 同時通訳あり

* 本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

(内容に関するお問い合わせ)

独立行政法人防災科学技術研究所
火山防災研究部 藤田、中村
電話: 029-863-7537
FAX: 029-851-5658

(連絡先)

独立行政法人防災科学技術研究所
企画部広報普及課成果普及係 佐竹、山科
電話: 029-863-7783
FAX: 029-851-1622

火山災害の軽減に関する国際ワークショップ 2009
平成 21 年 11 月 4 日 (水) ~ 11 月 6 日 (金)
プログラム (暫定版)

11/4 (水) 10:00~ ワークショップ第 1 日目 防災科学技術研究所

10:00 開会の挨拶

10:10 趣旨説明

第1部 大規模噴火の事例 (1)

○米国・セントヘレンズ火山の噴火 (1980 年 5 月)

10:20 - 11:05 Robert. I. Tilling (元米国地質調査所)

11:05 - 11:50 Daniel Miller (元米国地質調査所)

(11:50 - 13:00 昼食)

○フィリピン・ピナツボ火山の噴火 (1991 年 6 月)

13:00 - 13:45 Chris Newhall (シンガポール南洋工科大学)

○日本・有珠山 (2000 年 3 月)

13:45 - 14:15 岡田 弘 (環境防災総合政策研究機構・北海道大学名誉教授)

○日本・伊豆大島 (1986 年 11 月)

14:15 - 14:45 荒牧重雄 (山梨県環境科学研究所)

○日本・雲仙普賢岳 (1991 年 6 月)

14:45 - 15:15 太田一也 (九州大学名誉教授)

(15:15 - 15:30 休憩)

第2部 大規模噴火発生の際の日本の火山防災

15:30 - 16:00 気象庁レベル 4・5 の意味するところ

斎藤 誠 (気象庁地震火山部・火山対策官)

16:00 - 16:30 大規模噴火時における国家レベルでの対応

大塚弘美 (内閣府 (防災担当) 地震・火山・大規模水害対策担当企画官)

16:30 - 17:00 第 3 部へ向けて

荒牧重雄 (山梨県環境科学研究所)

11/6 (金) ワークショップ第2日目 山梨県環境科学研究所

09:30 開会の挨拶 (山梨環境研)

第3部 米国における火山防災体制—リスク・クライシスマネージメントと意思決定プロセス

09:45 - 10:30 John Ewert (米国地質調査所カスケード火山観測所)

10:30 - 11:45 Nathan Wood (米国地質調査所カスケード火山観測所)

(11:45 - 13:00 昼食)

13:00 ~ 15:00 大規模噴火発生火山防災シミュレーション

総合討論 (荒牧重雄・中村洋一・藤田英輔)

- ・ 特定の火山の過去の特定の噴火を例にとり、同様の噴火が現時点で起きた場合のシナリオを想定し、防災対応のシミュレーションを行う。
- ・ 特定のシミュレーションについて、問題点、困難性を可能な限り抽出し、最適の防災対応の戦略（戦略）をくみ上げる。
- ・ 大規模噴火（クライシス）の際の意思決定手法について、
Player (国・都道府県・市町村レベル火山防災担当者／監視機関／火山専門家／マスコミ／ライフライン等)の配置、そのリンクのあり方。
- ・ 事前に整備しておくべきこと（シナリオなど）。

15:00 終了

火山災害の軽減に関する国際ワークショップ2009

—大規模噴火(レベル4・5)時のクライシス・マネージメント—

WORKSHOP ON STRATEGY OF VOLCANIC DISASTER MITIGATION 2009

-CRISIS MANAGEMENT IN BIG ERUPTIONS (LEVELS 4 AND 5)-

平成21年11月4日(水)10:00-17:00 防災科学技術研究所
平成21年11月6日(金)09:30-15:00 山梨県環境科学研究所
(両日とも同時通訳付)



国内外の大規模噴火災害の事例から、噴火予測から情報伝達、避難、関係機関の連携など多面的な経験に学ぶとともに、現状の問題点を明らかにし、今後の課題や問題の改善に向けた方策について意見討論を行う。

主な講演者: Robert I. Tilling (元・米国地質調査所)
Daniel Miller (元・米国地質調査所)
Chris Newhall (シンガポール南洋工科大学)
John Ewert (米国地質調査所カスケード火山観測所)
Nathan Wood (米国地質調査所カスケード火山観測所)
太田一也 (九州大学名誉教授)
岡田 弘 (環境防災総合政策機構・北海道大学名誉教授)
斎藤 誠 (気象庁地震火山部・火山対策官) ほか

参加登録: 電話・FAX・電子メールで事務局
までご連絡下さい。
プログラム等詳細は下記のURLをご覧ください。
<http://www.bosai.go.jp/> または
<http://www.yies.pref.yamanashi.jp/>

お問い合わせ先(事務局):
(独) 防災科学技術研究所 火山防災研究部
〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
Tel: 029-863-7537 Fax: 029-851-5658
E-mail: kazan-ws@bosai.go.jp
山梨県環境科学研究所
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田
字剣丸尾5597-1
Tel: 0555-72-6211(代) Fax: 0555-72-6204
E-mail: soumu@yies.pref.yamanashi.jp



主催: (独) 防災科学技術研究所・山梨県環境科学研究所
後援: 特定非営利活動法人日本火山学会